

教職員向け「指導の手引き」

 大阪府

考えよう！

かん きょう
わたしたちのくらしと環境・エネルギー

～プラスチックごみ問題～

何でなん？

気づいたら、こんな水になっちゃった。
僕らは何もしてへんのに。



「海水のリアル」
海洋生物たちの害が
私たちがの害が
海洋生物たちの害が
あなたの行動一つで
軽くなります
海洋生物の害に
全生物が害に
遭わせる未来を

「おおさか環境デジタルメディアコンテスト2023」大阪産(もん)賞

SDGs達成をめざす
2025大阪・関西万博

万博やSDGsに向けてみなさんに
できることを考えて
みましょう！

EXPO 2025
©Expo 2025

き ぎょう
企業のお仕事とSDGs

き ぎょう
企業のみなさんの
かん きょう
環境に関する取り組みを
みまのそいでみよう！

くわしくはこちら


©2014 大阪府しずらん

この手引きは、「考えよう！わたしたちのくらしと環境・エネルギー」を使用する際に、環境学習につながる資料や大阪での状況・対策を学習する資料として参考となる情報を整理したものです。

プラスチックごみ問題 (p. 2)

① プラスチックごみによる環境問題

ねらい

- 世界的に大きな問題となっているプラスチックごみ問題について知り、プラスチックごみを減らすための身近な行動につなげる。

留意点

- 写真を見せて説明することで、プラスチックごみによって、海の生き物に影響を与えたり、景観を損なうなど、悪影響を与えていることを伝える。
- 海洋ごみ(漂流・漂着・海底ごみ)は、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下、景観への悪影響、船舶航行の障害、漁業への影響等、様々な問題を引き起こしている。

○「マイクロプラスチック」ってなに？

- 近年、マイクロプラスチック(5mm以下になったプラスチック)という微細なプラスチックごみが、沿岸及び海洋の生態系に影響を及ぼす可能性がある「海洋の環境問題」として、世界的な課題となっていることを伝える。

○考えてみよう！

<第1問>

- 小学5年生の平均体重は35.0kgで、自分たち3人分とほぼ同じ重さであることを伝える。
(引用:令和3年度学校保健統計調査報告書より)

<第2問>

- レジ袋1枚の長さを40cmとすると、300万枚のレジ袋をつなげると1,200kmとなり、これは、大阪から東京(直線距離約400km)1往復半と同じ長さになることを伝える。
- 海へ流れ出したプラスチックごみが増え続けると、2050年までに海洋プラスチックごみの重量が、海中の魚の量を超えるという予測があることを伝える。

① プラスチックごみによる環境問題

プラスチック製品は、安くて使いやすいことから急激に普及して、わたしたちの生活を便利にしてくれています。その一方で、近年、適正に処理されずに捨てられたプラスチックが、海や川へ流れこみ、環境を汚染していることが世界的に大きな問題となっています。一度海へ流れ出したプラスチックごみは、自然界ではなかなか分解されず、多くが数百年にわたり残り続けてしまいます。さらに、マイクロプラスチックになると、海中の有害物質を吸着しやすくなり、それをえさと間違えて食べてしまうことで、生物に影響をおよぼすおそれもあるのです。

大阪府内の海岸に漂着したごみ

漁網が絡まったウミガメ

写真提供: NOAA (National Oceanic and Atmospheric Administration) / 環境省(国)

「マイクロプラスチック」ってなに？

海や川に捨てられたプラスチックごみが、太陽の熱や紫外線などはたき割れてくだけて5mmより小さくなったものを、「マイクロプラスチック」といいます。洗濯機からの排水にも、合成繊維製のポリエステルなど、マイクロプラスチックのもとになる物質がふくまれています。

海や川の生き物はそれをえさと間違えて食べてしまうことがあります。さらに、食用している小魚の内臓をとって、わたしたちの体内に入ってくるおそれもあります。

考えてみよう！

プラスチックごみ問題は世界中で発生しています。2019年、スコットランドで見つかったクジラの死骸からたくさんのプラスチックごみが見つかりました。どのくらい重さのプラスチックごみが見つかったでしょうか？

① 100グラム ② 1キログラム ③ 100キログラム

わたしたちがらす大阪には大阪湾があります。大阪湾にもプラスチックごみ流れこみ、たくさんのレジ袋がしずんでいます。どのくらいの枚数がしずんでいるでしょうか？

① 3000枚 ② 3万枚 ③ 300万枚

プラスチックごみ問題は海外だけでなく、わたしたちにも身近な問題なんだね！

※答えは6ページの下にあります。

プラスチックごみ問題 (p.3)

② プラスチックごみはどこから？

留意点

- ・ 街中でポイ捨てされたプラスチックごみが、川から海へ運ばれて、海のプラスチックごみとなっていることを伝える。
- ・ また、大阪湾では、プラスチックごみが漂流するごみの約8割を占めており、食品包装材やレジ袋、ペットボトルなどの使い捨てプラスチックが約3割を占めていることを伝える。

○ 世界の動き・大阪府の取り組み

- ・ G20サミットで主要テーマとして取り上げられるなど、近年、海洋プラスチックごみが世界的な問題となっていることを伝える。
- ・ 海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が世界各国で共有されたことを伝える。
- ・ 2019年1月の「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」以来、大阪府は企業や団体などと連携し、マイボトルの利用促進によるプラスチックごみの削減や海洋プラスチックごみの回収、漂着ごみの調査など、様々な取り組みを進めている。

② プラスチックごみはどこから？

海のプラスチックごみは、直接海に捨てられたごみだけでなく、道路や街中などにポイ捨てされたごみが、雨や風で流されて、川から海へ運ばれて発生します。海のプラスチックごみの多くが、陸域由来と考えられています。大阪湾では、プラスチックごみが漂流ごみの全体の約8割をしめており、レジ袋やペットボトル、食品包装材などの「使い捨てのプラスチック」が、そのうち約3割をしめています。

プラスチックごみが海に流れるまで

世界の動き・大阪府の取り組み

2019年6月に開催されたG20大阪サミットでは、海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。大阪府では、2019年1月に大阪市と共同で「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、海洋プラスチックごみの回収や漂着ごみ調査など、プラスチックごみゼロに向けた取り組みを進めています。

マイクログラスチックで万華鏡を作ってみよう

(材料) ・マイクログラスチック ・ラップの芯 (トイレットペーパーのしんでもOK) ・丸形クリアケース
・ミラーシート (100円ショップで買えます) ・黒い色画用紙 ・セロハンテープ ・はさみ

- 1 海岸や河川敷で、マイクログラスチックを拾う
- 2 3枚のミラーシートを三角になるようにテープでとめ、ラップの芯の中に入れる
- 3 黒い画用紙の中心を切りぬき、ラップの芯の片方につける
- 4 マイクログラスチックを入れたクリアケースを反対側につける

できあがり!

3

○ 万華鏡を作ってみよう

- ・ 海岸や河川敷で手に入るマイクログラスチックから万華鏡を作る方法を掲載している。
- ・ マイクログラスチックを実際に拾い、工作に使用するという過程を経て、海洋プラスチックごみによる海洋汚染の問題を身近に感じ、関心を持つきっかけとする。

<参考>

◆おおさかプラスチックごみゼロ宣言

<https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/kaiyoplastic/index.html>

◆「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画について

https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/kannou_sdgs/blue-ocean-plan.html

プラスチックごみ問題 (p.4)

③調べてみよう！ごみの種類

留意点

- 清掃活動で集めたごみについて調べる
- ・ 学校周辺で自分たちでごみ拾いを行い、例えば「ごみ調べカード」を使って調べ、どのようなごみが多いのか、グループで発表しあうことで、ごみの現状について、理解を深める。

詳しくはこちらのQRコードをご覧ください。簡易版調査カードや調査入力シートをダウンロードすることができます。



③ 調べてみよう！ごみの種類

身近な場所に、どんなごみが落ちているか、どんなごみが多いか、「ごみ調べカード」を使って調べてみましょう。また、ごみを減らすために、わたしたちにできることにはどんなことがあるか考えてみましょう。

ごみ調べカードの使い方

- ① ごみ袋・重手・火ばさみなどを準備し、ごみ拾いしましょう。
- ② ごみ調べカードを使ってごみ进行分类し、それぞれのごみの個数を数えましょう。
- ③ 数えたごみの個数をカードに書きましょう。

学校のまわりの歩道、公園、海岸（砂浜）など、身近なところでごみ拾いしてみましょう！

飲料・食品の容器包装		飲料・食品以外の容器包装		その他	
1	飲料用ペットボトル 本体	8	洗剤等のボトルや 容器	11	タバコの廃棄物
2	ペットボトルキャップ プラスチック フタ	9	使い捨ての箸 小糸包装の箸	12	使い捨てライター
3	カップ容器 アルミ缶容器	10	その他がび	13	不織布マスク

ごみ調べカードのプラスチックの分類

くわしくはこちら

恩智川でのごみ調査の結果

ペットボトルやレジ袋、食品の容器包装など、わたしたちの生活から出ているごみが多く、割合を調べてみました。

ごみの内訳（個数ベース）

ペットボトル	44%
飲料用容器	7%
レジ袋	23%
その他	26%

全体の約7割

動画で学ぼう！

大阪湾の環境保全に関する動画「ハッピー・オオサカ・ベイベース」
海洋プラスチックごみ問題や今日からできる取組みなど、クイズを交えて楽しく分かりやすく紹介しています。

くわしくはこちら

地域のせいそ活動に参加してみよう！

大阪府内では、河川敷や海岸などで、さまざまな清掃活動が行われています。積極的に参加してみましょう。

○ 恩智川でのごみ調査の結果

- ・ 令和3年度に恩智川において、ごみ組成調査を実施した結果、回収したごみの約7割がペットボトルやレジ袋など日々の生活から出るプラスチックごみであった。
- ・ 日頃から使い捨てプラスチック製品をなるべく使わないよう心掛けることが、海洋プラスチックごみ問題の解決につながることに気付くようにする。

○ 動画で学ぼう！

- ・ 海洋プラスチックごみ問題について分かりやすく学べる動画を見て、海洋プラスチックごみの削減など、環境の保全に向けて今日からできる取り組みについて考えるきっかけとする。

大阪湾の環境保全に関する子ども向け啓発シリーズ動画
「ハッピー・オオサカ・ベイベース」(全5話)

<ごみ調査に関する報告・お問い合わせ先>

環境管理室 環境保全課 環境計画グループ

電話:06-6210-9577 E-mail:kankyokanri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

プラスチックごみ問題 (p.5)

④プラスチックごみを減らす工夫「プラごみ“ほかさん”3か条」

留意点

- プラスチックごみを減らすために、身近にできることを伝え、自分たちにできることを考えるきっかけとする。

プラごみ“ほかさん”アクションbookでは、プラスチックごみ問題の現状や、日常生活での取り組みアイデアなどを分かりやすく紹介しています。

<https://www.osaka-hokasan.jp/cardgame/>



○Osakaほかさんマップ

- マイボトルやマイ容器で商品を持ち帰ることができるお店・スポットを調べることができます。 <https://www.osaka-hokasan.jp/>

商品の分類や地図から簡単に探すことができます。



④プラスチックごみを減らす工夫「プラごみ“ほかさん”3か条」

プラスチックごみを減らすためには、ほかさん(捨てない)ようにすることが大切です。使い捨てプラスチック製品(レジ袋やストローなど)を使わないようにする、ごみの分別に取り組みなど、ふだんの生活で取り組めることはたくさんあります。できることから始め、プラスチックごみゼロをめざしましょう。

「プラごみ“ほかさん”アクションbook」
QRコード

- ① プラごみを減らせる商品やサービスを選ぼう!**

マイバッグやマイボトルなどを持ち歩く

ストロー・スプーンなどをもらわない

プラスチック容器包装でない商品やサービスを選ぶ
- ② 今持っているものを長く大切に使う!**

フリーマーケットやリユースショップを利用する
- ③ リサイクルにつながる取組みをしよう!**

ごみ出しの分別ルールを守る

Osakaほかさんマップ

マイボトルやマイ容器で商品を持ち帰ることができるお店・スポットを簡単に探せるウェブサイトです。マイボトルやマイ容器を使えるお店をさがしてみよう!

おおさかプラスチックごみ3Rカードゲーム

生活の中でプラスチックごみが出る場面において、3Rの取り組みアイデアを考えながら、楽しく学ぶことができるカードゲームです。

「ほかさん」3Rとは、Reduce (ごみを減らす)・Reuse (使い回し)・Recycle (資源として再利用)のことです。

©2014 大阪府教育庁

○おおさかプラスチックごみ3Rカードゲーム

- 生活の中でプラスチックごみが出る場面において、3Rの取り組みアイデアを考えながら、楽しく学ぶことができます。

<https://www.osaka-hokasan.jp/cardgame/>

ホームページからダウンロードできます。カードゲームの貸出しも行っていきます。



<Osakaほかさんマップ・3Rカードゲームに関する問合せ先>

循環型社会推進室 資源循環課 3R推進グループ

電話:06-6210-9567 E-mail:shigenjunkan-recycle@gbox.pref.osaka.lg.jp

プラスチックごみ問題 (p.5)

<補足資料>



©2014 大阪府もずやん

対策をしないとどうなるの？
プラスチックごみを減らすために
どんなことができるだろう？

くわしくはこちら



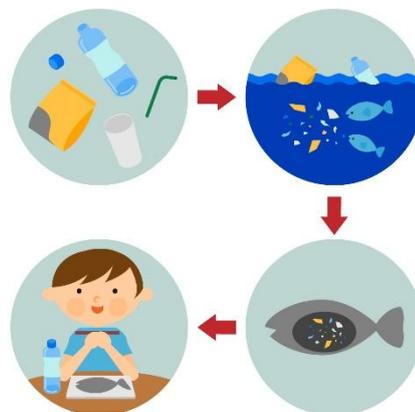
○マイクロプラスチックについて

- 東京湾で捕ったカタクチイワシの消化管を調査した結果では、64尾中49尾から計150個のマイクロプラスチックが検出されています。検出されたマイクロプラスチックの約8割が0.1～1ミリの大きさでした。

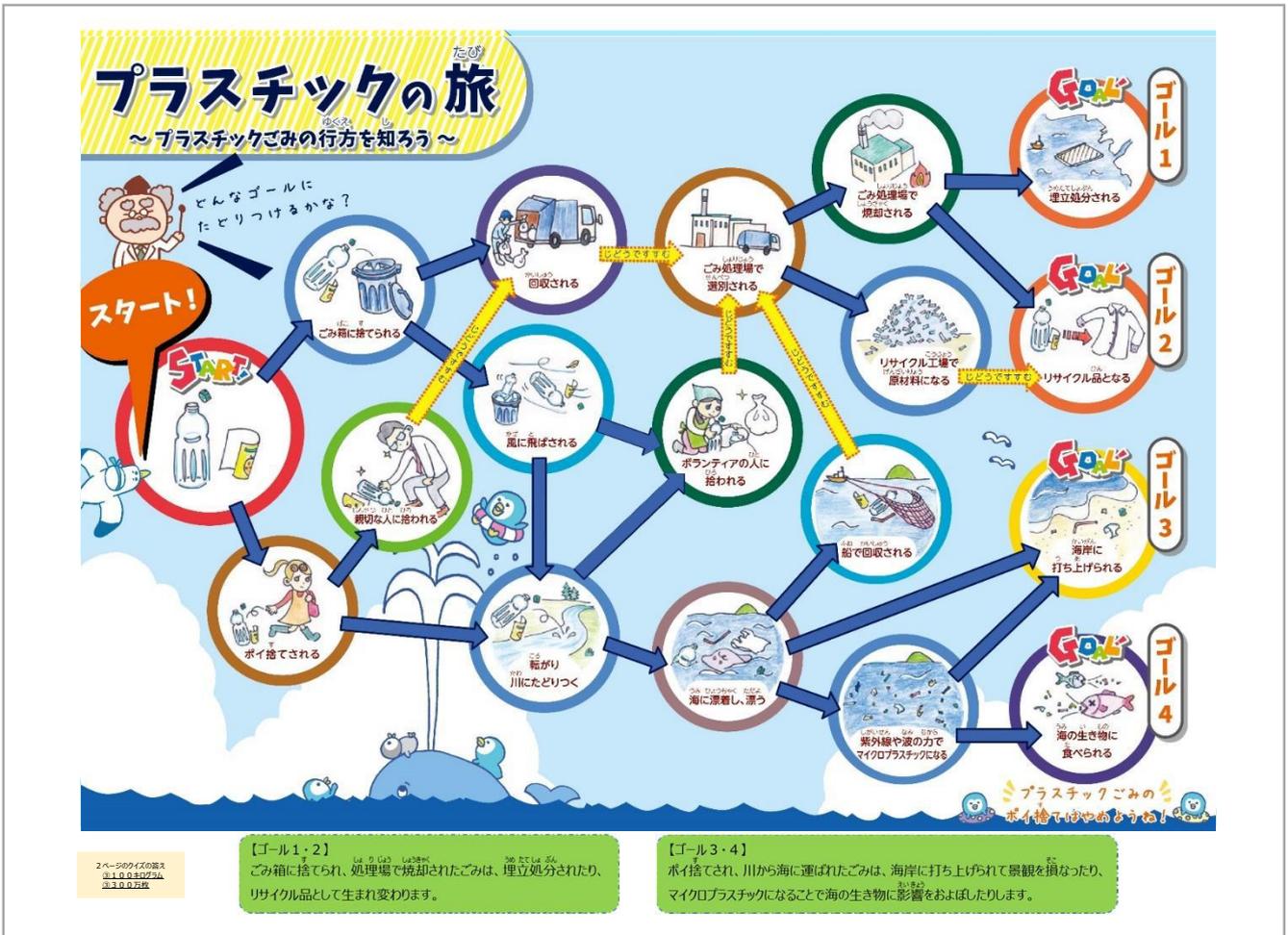
(東京農工大学 農学部環境資源科学科 高田秀重教授による調査研究結果)

- マイクロプラスチックは、PCB、ダイオキシン、DDTなど、残留性有機物汚染物質(POPs)と呼ばれる海中の有害化学物質を取り込みやすいことが分かってきています。マイクロプラスチックを摂取したプランクトンを小魚が食べ、より大きな魚が小魚を食べ・・・という食物連鎖を通じて、有害化学物質が生き物の体内に蓄積する可能性が懸念されています。

(千葉商科大学「MIRAI Times(2023. 3. 22コラム)」)



プラスチックの旅 (p.6 - 7)



留意点

(体験学習)プラスチックの旅

- ペットボトルの気持ちになって、自分が行きたい矢印の方向、あるいは行きたくない矢印の方向を指で進めていき、どのようなゴールに到着するかを学ぶ。
- プラスチックごみは、ゴミ箱に捨てられ、回収、ゴミ処理場へ持ち込まれると、焼却後、埋立処分場で適正に処理されたり(ゴール1)、リサイクル品となり再利用(ゴール2)される。
- 一方、ポイ捨てされると、風に飛ばされたりして転がり、川から海に運ばれ、海岸に打ち上げられ、海岸を汚したり(ゴール3)、海の生き物に影響を与えたりする(ゴール4)。
- また、ゴミ箱に捨てられた場合でも、ゴミ箱が一杯で山積みになっていると、風に飛ばされ川から海へ運ばれてしまうこと、ポイ捨てされたゴミを見つけたら拾ってきちんとゴミ箱に捨てることで、適正に処理されることを伝える。

<参考情報>

① 焼却後のごみの埋立処分について

近畿2府4県168市町村で発生したごみは、各市町村等のごみ処理場で焼却されたのち、大阪湾にある埋立処分場で適正に埋立・処理される。

埋立により出来上がった土地は、コンサート等に活用されている。

埋立処分場(大阪湾広域臨海環境整備センター)



泉大津沖処分場



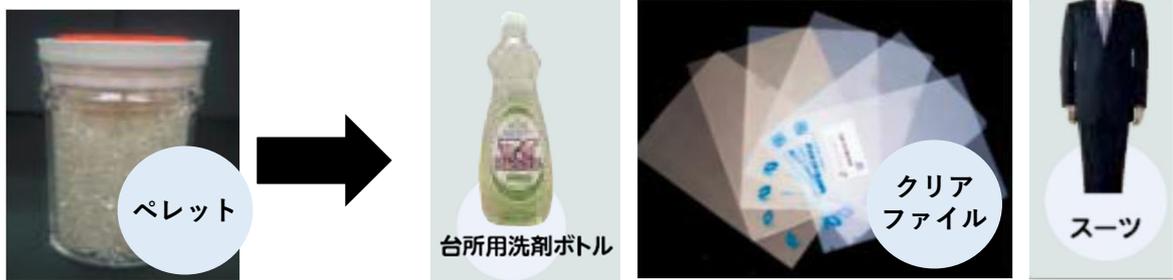
大阪沖処分場

※泉大津沖処分場は、ほぼ埋立が終了竣工した場所でイベント等が開催されている。

プラスチックの旅 (p.6 - 7) 【続き】

②プラスチックのリサイクルについて

回収されたペットボトルは、選別や破碎、洗浄を行うことでペレット状の原料とし、再度、ペットボトルとして、また、クリアファイルや衣類等として再利用される。

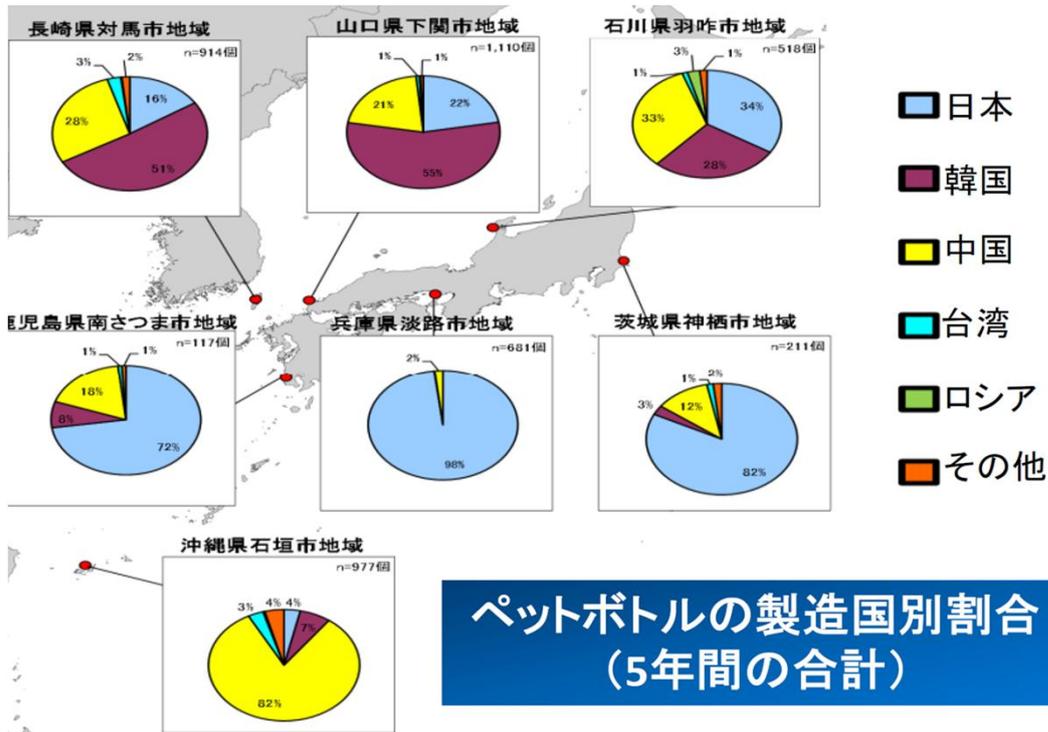


③大阪湾のプラスチックごみの現状

大阪湾の漂流・漂着ごみの約8割がプラスチック類で、そのほとんどが日本製。

(参考)H22-26 環境省による漂着したペットボトルの製造国別割合

- ・大阪湾: 98%が日本製
- ・沖縄県: 約8割が中国製で日本製は3%
- ・長崎県、山口県: 約5割が韓国製で日本製は数%



・海洋プラスチックごみの大半(約8割程度と推計)は、河川を流れて到着した陸域由来のごみと言われている。

・関西広域連合の調査結果では、大阪湾の海底にレジ袋300万枚、ビニル片610万枚が沈んでいると推計されている。

表紙及び裏表紙について



○企業のお仕事とSDGs

- 現在、企業では、環境に配慮した製品づくり・サービス提供をしたり、地域の環境を守る活動に積極的に参加するなど、様々なことに取り組まれています。
- 環境に関する取り組みの実例を知る参考として、職業教育の参考として、冊子作成に協力をいただいている企業の取り組みを大阪府のホームページで紹介しています。
- 表紙のQRコードまたは以下のURLからアクセス可能です。

https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/education/kigyo_sdgs.html

○表紙のイラスト

(令和6年度まで) おおさか環境デジタルメディアコンテストの受賞作品

豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境をテーマにしたデジタルポスターデザイン等を公募しています。表紙には、令和5年度の受賞作品を掲載しています。

(令和7年度以降) 環境教育情報紙「エコチル」の表紙イラスト等

大阪府と株式会社アドバコムは、次世代を担う子どもたちが地球環境問題について理解を深め、主体的に行動できるよう促すことを目的とした連携協定を締結しました。

協定に基づく取り組みとして、令和6年4月から府内小学校1～6年生に環境教育情報紙「エコチル」を配付します。

「エコチル」では毎月、児童の皆さんからエコや自然をテーマにしたイラストを募集しています。令和7年度以降の表紙には、応募いただいた作品の中から、環境教育冊子の関連テーマのイラストを掲載する予定です。

<https://www.ecochil.net/>



環境学習ツール

地球温暖化に関する理解を深め、一人ひとりができることを考え、行動できるようにすることを目的とし、学習シートなどの環境学習ツールを作成し、大阪府ホームページに掲載しています。併せてご活用ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/education/>

①ごみ調べカード



②プラスチックごみ削減のための行動計画



③地球を守る行動宣言



④ポスター報告書
(様式は自由)



⑤リサイクルde工作



【参考情報】

<エコスタディ～おおさか環境学習のひろば～>

- 大阪府脱炭素・エネルギー政策課のHPでは、環境学習に関する様々な情報を紹介しています。

https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/ecoala_top/kankyogakusyu.html



<環境教育の教材・支援プログラムについて>

- 大阪府教育庁のHPでは、民間企業や団体、行政機関が開発した環境教育の教材・指導プログラムを紹介しています。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kankyo-top/kankyo.html>



<貸し出しツールについて>

- 大阪府地球温暖化防止活動推進センター(一般社団法人大阪府みどり公社)では、環境学習のより一層の推進を図るため、センターで所有する環境学習教材の貸し出しを行っています。

パネルやDVDはもちろん、実験キットを使って体験しながら学習していただく幅広く取り揃えております。

直接センターでの受け渡し、または宅配便等による貸し出しをしています。

(※送料は利用者のご負担となります)

<http://osaka-midori.jp/ondanka-c/suishini/kasidasi/>



<センター所在地>

〒541-0054 大阪府中央区南本町2丁目1番8(創建本町ビル5階)

【参考情報】

<環境省 環境教育に役立つ情報サイト 環境学習STATION>

- 脱炭素社会の実現に向けた新環境教育教材等が紹介されています。
小学校低学年から高学年まで、学年に合わせた授業展開例や動画が掲載されています。

<http://eco.env.go.jp/>



みんなで**変える**地球の**未来**

～脱炭素社会をつくるために～

<引用元について>

- この「指導の手引き」は、大阪市環境副読本「おおさか環境科(小学校・義務教育学校5・6年生)の「指導の手引き」から一部転載し、大阪府において編集しました。なお、全文は大阪市環境情報サイト「なにわエコスタイル」からご覧いただけます。

<http://naniwa-ecostyle.net/>

- 経済産業省資源エネルギー庁の副教材(エネルギー教育)
「かがやけ！みんなのエネルギー」
「わたしたちのくらしとエネルギー」の解説編[教師用]
からも一部引用しています。

<https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/tyousakouhou/>

<環境教育等に関する取り組み・イベントについて>

- この冊子は、エネルギー・環境教育の趣旨にご賛同される企業の皆様に、印刷協力をいただき、作成しています。協賛企業の環境教育等に関する取り組みやイベントについて、次ページ以降で紹介しています。

<企業の環境への取組み(事例紹介)>



子どもたちの未来につながる水を、多くの皆さんにとどけるために、
ブリタジャパンでは様々な環境保全活動を行っています。

ブルーオーシャンビジョン実現のために 大阪府・大阪市との事業連携協定締結

海洋プラスチックごみの削減をはじめとする環境関連分野におけるパートナーシップを構築し、相互に密接な連携を図ることにより、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けた取組等を推進し、豊かな環境の保全と創造を進めていきます。



大阪府・市との事業連携協定の詳細は、こちらをご覧ください▶▶▶



森を育て“水”を守り、環境保全について考える 富士山麓での育林活動

山を守り、森を育てることは、水を守り生活を守ること。
2007年に開始した富士山麓での植樹、育林活動は、NPO法人、ブリタジャパン社員、ユーザー（ブリタクラブ会員）三者でのプロジェクトとして定着しています。



ブリタのさまざまなサステナビリティへの取組みは、こちらをご覧ください▶▶▶



「いのちをつなぐ学校」by SARAYA のご紹介



「いのちをつなぐ学校」はSARAYAが取り組む、感染症から命をまもる衛生の知識から、生命科学の歴史や最先端の話題まで、動画で楽しく学べるウェブサイトです。また、持続可能な社会を目指し、企業活動を通じて様々な活動を行っているSARAYAの社員が学校を訪問し、感染症からの予防やパーム油などの環境問題をテーマに出張授業を行います。ぜひ、WEBサイトをご覧ください。

【いのちをつなぐ学校の特徴】

- 1) <生命哲学から学ぶ> 生物学者の福岡伸一さんと一緒に生命の本質から掘り下げて考えます。
- 2) <好奇心を刺激する学び> 知識を増やす学びではなく、知りたくなる学びを提供します。
- 3) <最新の正しい知識> 日々進展する科学の最新情報をもとに正しい知識を提供します。
- 4) <自分ごと化できる学び> 日常生活と生命科学をつなぎ行動を促します。

【コンテンツ例】



3DCGに変身したフクオカハカセが、「生命とは何か」を微生物学、疫学などの歴史からひともといて、わかりやすく教えてください。



架空の学園「いのちをつなぐ学校」を舞台に、個性豊かな動物キャラクターたちが生命の不思議を探究するショートアニメです。

ほかにも専門家へのインタビューや、手洗いの正しい方法を学ぶ動画など毎月更新中。ぜひアクセスしてください。



「ステハジ」プロジェクト ～OSGコーポレーションの取組～



さあ、みんなでサステナブル はじめよう！



ステハジHP

“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して誰でも、毎日、どこでも、少しの意識と行動で海洋プラスチックごみ問題などの使い捨てから生まれる、その他様々な社会課題を個人・企業・自治体・団体・教育機関が一体となって啓発・実践し、行動変容に取り組むプロジェクトです。

さあ、みんなでサステナブルはじめよう！

【「ステハジ」主催のプロジェクト】
ペットボトルを削減した量を競う「マイチャレ」イベントや、「日本とアジアをつなぐビーチクリーン」などみなさんと一緒になって行動変容に取り組んでいます。



【環境教育等に関するイベント】

■ エコとわざ

- 環境に関するテーマに合うエコなことわざを募集し、表彰しています。
(主催 エコ・ファースト推進協議会)
- 令和5年度は、6月24日から9月9日まで募集しました。
- 令和6年度については、詳細が決定次第、公表予定です。

<https://www.ecotowaza.jp/>

みんなで一緒に取り組もう！
SDGs

COOL CHOICE Plastics Smart

エコとわざ

第14回 エコなことわざ大募集!

未来の私たちに向けて、
今からできることを考えよう！
～2050年も美しい地球を自創して～

「未来の私たちに向けて、今からできることを考えよう！～2050年も美しい地球を自創して～「エコとわざ」コンクール」

募集対象 全国の小・中学生

募集期間 2023年6月24日～9月9日まで

募集要項

ECO FIRS

推進協議会

主催 エコ・ファースト推進協議会 ● 協賛 環境省 ● 協力 全国小中学校環境教育研究会 ● 協賛 読売 日本こたわ文化学会
● 特別協力 「エコとわざ」コンクール事務局 052-957-3925 受付時間/平日10:00～17:00(12:00～13:00は休み) ● 土・日・祝日、8月11日～15日は休みです。